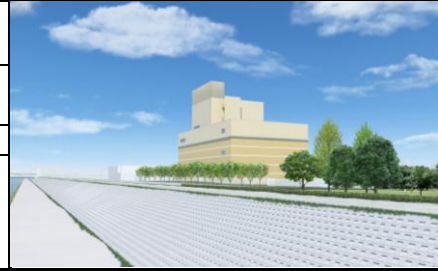


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	阪神高速道路南島換気所	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市堺区南島町四丁156番1	構造	RC造
用途地域	工業地域、法第22条区域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	12時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年7月30日
敷地面積	3,961 m ²	作成者	芝池裕教
建築面積	1,040 m ²	確認日	2013年7月30日
延床面積	2,333 m ²	確認者	芝池裕教



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	93%
③上記+②以外の	93%
④上記+	93%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境	N.
温熱環境	N.
光・視環境	N.
空気質環境	N.

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

機能性	N.
耐用性	3.2
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

建物の	N.
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.2
地域環境	3.4
周辺環境	3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合	道路管理施設として維持管理がし易く、設備の更新性に配慮した設計としている。	0
Q1 室内環境	道路管理施設であり居住エリアの無い施設のため、評価対象外とする。	Q3 室外環境(敷地内) 大和川に面する敷地北側に緑地帯を設け、高木を植栽することで周辺環境に配慮している。
LR1 エネルギー	塔屋屋上に太陽光発電パネル用基礎を設け、将来設置可能な対応をしている。	LR3 敷地外環境 予定建築物を敷地中央に配置し、敷地外への影響を減らすように配慮している。
Q2 サービス性能	設備の更新性に配慮した設計としている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。窒素ガス消火を用いることで、ハロン・フロン回避に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	阪神高速道路 南島換気所	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区南島町4丁156番1,2,3,4の各一部	1.2	B+
	主用途/延床面積	工場 / 2,332.77 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.2	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		4.6	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		0.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	